

日本版CCRC構想の基本コンセプト（案）

1.東京圏をはじめ大都市の高齢者の地方移住の支援

東京圏をはじめ大都市の高齢者が、自らの希望に応じて地方に移り住むことを支援する。このため、移住者に対しきめ細かな支援（事前相談、お試し居住など）を展開する。

2.「健康でアクティブな生活」の実現

高齢者が、健康づくりとともに、社会活動・生涯学習への参加等により、健康でアクティブ（活動的）に生活することを目指す（支援プログラムの提供）。

3.「継続的なケア」の確保

医療・介護が必要となった時に、終末期まで尊厳ある生活が送れる「継続的なケア」の体制を確保する。

4. 地域社会（多世代）との共働

地域社会に溶け込み、子どもや若者など多世代との共働や地域貢献ができる環境を実現。

5. I T活用などによる効率的なサービス提供

ケア人材不足に対応し、I T活用や高齢者などの積極的な参加により、効率的なサービス提供を行う。

6. 居住者の参画・情報公開等による透明性の高い事業運営

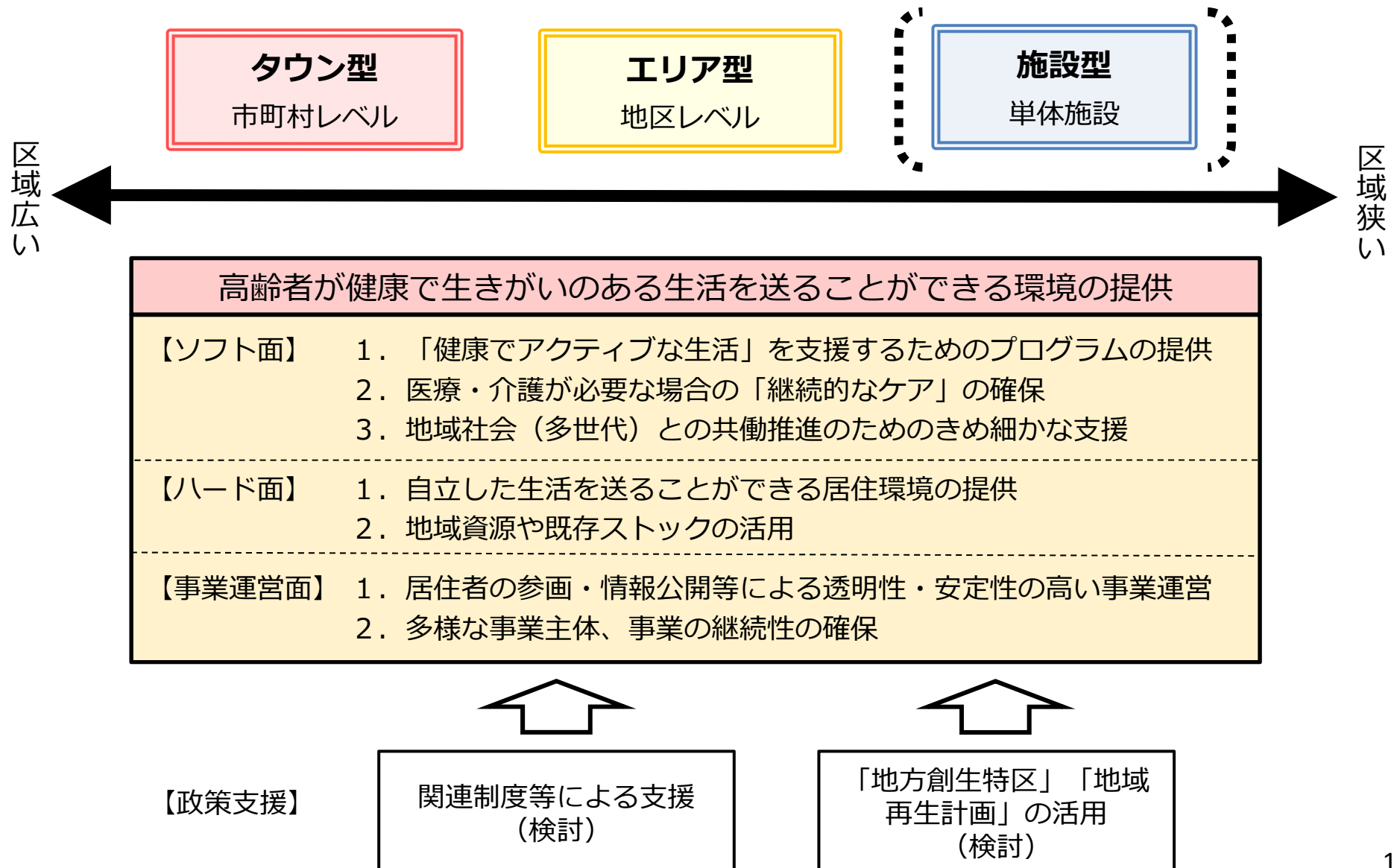
事業運営において居住者の積極的な参画と情報公開等を通じて、高い透明性と安定性を確保する。

7. 関連制度や「地方創生特区」等の活用による政策支援

関連制度等のほか、「地方創生特区」や「地域再生計画」の活用による政策支援を検討。

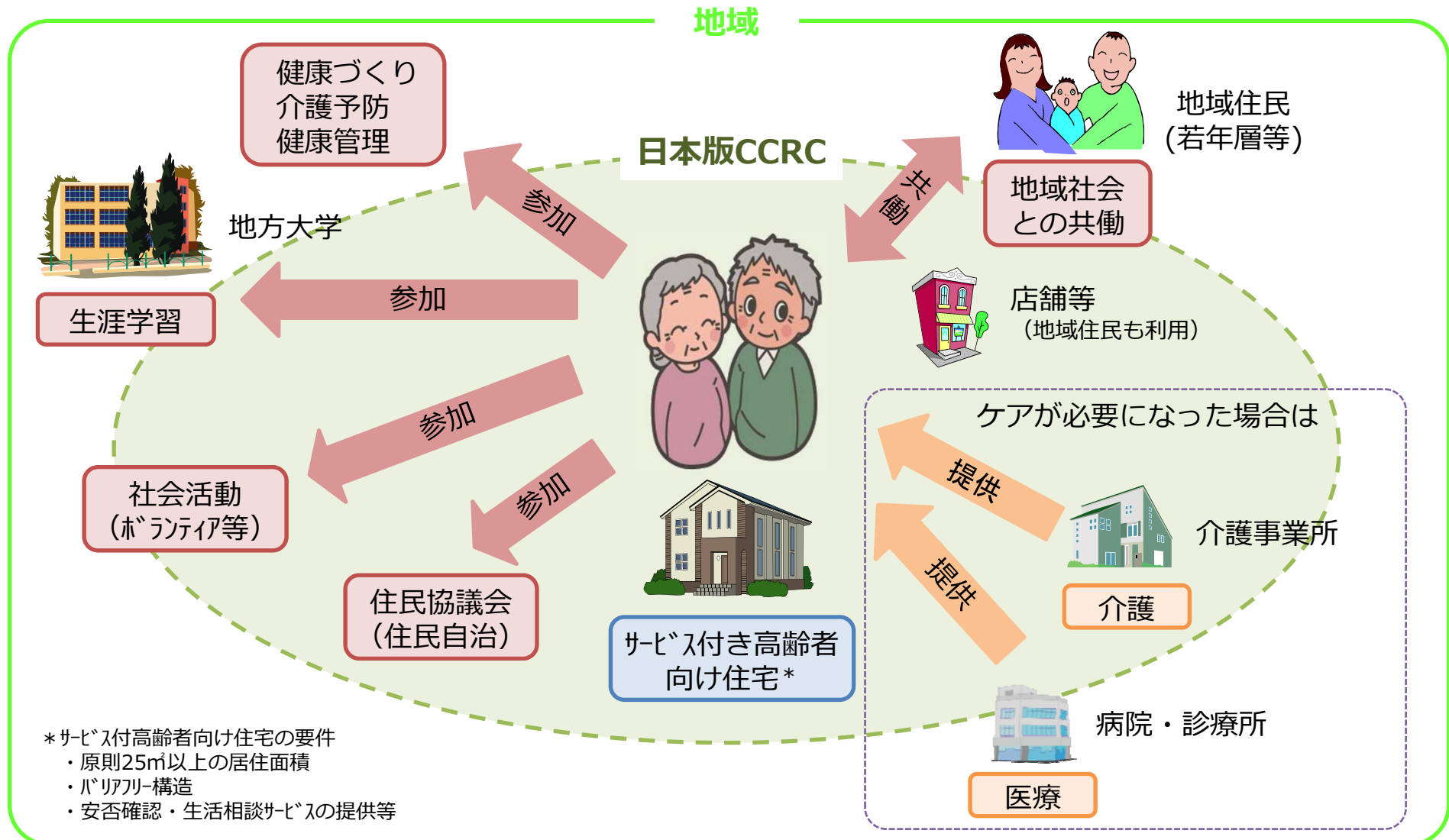
日本版CCRCの制度イメージ（案）

地域の実情等に合わせて、多様な立地・住宅構造・サービス機能によるコミュニティを形成



日本版CCRCにおける高齢者の生活のイメージ（案）

- ①健康でアクティブな生活の実現と継続的ケアの提供、②自立した生活ができる居住環境の提供、
③居住者の参画の下、透明性が高く安定した事業運営によるコミュニティの形成を一体的に実現。



※事業の透明性・安定性の確保の方策：居住者の参画、情報公開、事業の継続性確保等